57 葛尾村（かつらおむら）

コード番号：０７５４８５　類型：Ⅰ－０

村章	
所在地	〒979－1602 双葉郡葛尾村大字落合字落合16
所在地標高	海抜　435.00m
ＴＥＬ	0240－29－2111　ＦＡＸ　0240－29－2123
ＵＲＬ	https://www.katsurao.org
キャッチフレーズ	自然　人　温もりをむすぶ 結いのむら　かつらお
村花	ツツジ
村木	アカマツ
村鳥	キジ

PRキャラクター：しみちゃん

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
村長（3期）	篠木弘（しのき ひろし）	令和10年11月11日	716.0千円
副村長	松本弘（まつもと ひろし）	令和10年3月31日	574.0千円
議長	吉田義則（よしだ のりのり）	令和9年11月19日	264.0千円
副議長	松本操（まつもと みさお）	令和9年11月19日	213.0千円

村の概要

（自然条件）
阿武隈山系に属し、双葉郡の北西部にあり、田村市と二本松市、浪江町に接している。本村一帯は山岳が多く、北部に県立自然公園の日山(天王山)、南に同じく五十人山がある。河川は太平洋に注ぐ高瀬川が東に流れている。

（産業・経済）
本村は農業を主軸とした産業形態を目標にしてきたが、米の生産調整や農家の後継者不足等、依然厳しい状況にある。このような情勢の中で、農業を職業としてやりがいのあるものとなるよう、経営体育成に積極的な推進を図っている。

（観光・文化）
県立自然公園である日山と五十人山の山頂は平坦な芝生に覆われ、山開きの日は多くの人でにぎわう。高瀬川渓谷の清流やクリムゾンクローバーの花畑など、四季折々のフォトスポットも充実。村唯一の宿泊・入浴施設「せせらぎ荘」ではやさしい水質のお風呂に癒される。また、令和５年４月に、震災以来閉園していた村内キャンプ場「もりもりランド・かつらお」がグランドオープンし、来客者も増加している。

（伝統行事・伝統芸能）
村指定無形民俗文化財の葛尾三匹獅子舞があり、日山神社の例大祭で舞を奉納する。野行地区に伝わる宝財踊りが保存されている。

（特産品）
自然食品(凍みもち、豆もち、きな粉)などの他、そば、しいたけ、豆菓子、こちょうらん、羊肉、牛肉、鶏肉、エゴマ

（区域指定の現状等）
平成28年６月、帰還困難区域の野行地区を除く避難指示解除準備区域と居住制限区域の避難指示が解除された。役場は平成28年４月から全業務を本庁舎で再開している。
令和４年６月12日、帰還困難区域内の特定復興再生拠点が避難解除となった。

Ｒ７年度重点事業

(震災関連)	○ふくしま森林再生事業	296百万円
〃	○葛尾村移住・定住支援センター業務	42　〃
〃	○アーティスト移住定住促進事業	61　〃
〃	○地域魅力向上・発信事業	50　〃
〃	○福島県営農再開支援事業	64　〃
(震災以外)	○花見山公園(仮称)整備事業	150　〃
〃	○葛尾村サポートセンター運営事業	23　〃
〃	○消防施設等維持工事事業	20　〃

主な地域開発区域指定状況

辺地　過疎　準過疎　山村　豪雪
特豪　農産　特農　原発

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年国調	1,625人	218人	510人	459世帯	33世帯	84.37㎢
H22年国調	1,531人	173人	493人	470世帯	59世帯	人口密度
H27年国調	18人	0人	9人	9世帯	1世帯	15人/㎢
R2年国調	420人	24人	198人	205世帯	44世帯	
R6.1.1住基	1,273人	114人	510人	489世帯	高齢化率	40.06% 県下20位

産業別就業人口(R2年国調)	第1次産業	第2次産業	第3次産業	一人当り分配所得(R3年)
	(28.6%) 67人	(22.2%) 52人	(49.1%) 115人	6,870千円 県下5位

有権者数R7.3.1	男	567人	女	512人	計	1,079人

議員	(旧)法定上限	12人	条例定数	8人	衆議院議員選挙区
	現員	8人	任期	令和9年11月19日	第4区

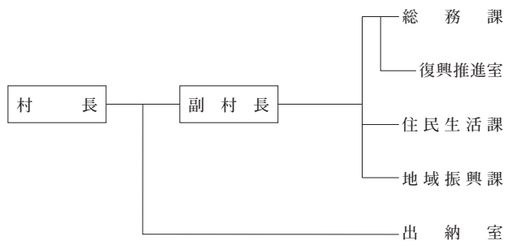
村の沿革

明治12年　上野川村、野川村、落合村、葛尾村、野行村
明22.4.1　津島葛尾組合村
大12.4.1　葛尾村(組合村を分離)

総合計画等の策定状況

名称	葛尾村振興計画(第５次)	
策定年月日		計画期間
令和５年４月１日		令和５年度～令和14年度まで

組織機構



一部事務組合等への加入状況

双葉地方広域市町村圏組合

職員数					
一般行政職員	27人	技能労務職員	0人	条例定数	46人
教育職員	2人	その他	6人		
		[企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。]			

	R3	R4	R5	R6
職員総数	37人	37人	36人	35人

財政(普通会計)

(1) 決算　(千円)

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高
R3決算	5,215,803	4,829,744	386,059	182,276	295,619	6,644,469	910,118	1,430,400	0
R4決算	6,736,584	6,243,320	493,264	280,329	98,089	6,425,307	1,080,154	1,300,772	80,000
R5決算	5,637,175	5,505,731	131,444	126,666	171,870	6,468,614	1,545,687	1,278,721	98,292

(2) 指標（　）は類似団体　(千円・%)

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率	
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)
R3決算	(2,493,947) 1,125,222	(0.20) 0.18	(79.4) 80.0	－	－	(7.5) 5.8	－		
R4決算	(2,429,371) 1,096,646	(0.19) 0.17	(83.0) 89.7	－	－	(7.5) 6.4	－		
R5決算	(2,456,466) 1,101,970	(0.18) 0.16	(84.2) 84.0	－	－	(7.7) 6.0	－		

(3) 主な歳入（　）は構成比　(千円・%)

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R3決算	(2.6) 136,028	(37.9) 1,979,011	(23.4) 1,218,221	(14.8) 772,709	(2.3) 121,600	(19.0) 988,234	(100.0) 5,215,803
R4決算	(1.9) 127,257	(23.7) 1,597,582	(11.7) 789,628	(31.8) 2,142,376	(0.8) 55,200	(30.1) 2,024,541	(100.0) 6,736,584
R5決算	(2.2) 123,890	(22.3) 1,259,577	(9.5) 534,236	(28.8) 1,622,922	(2.8) 160,200	(34.3) 1,936,350	(100.0) 5,637,175

(4) 主な歳出（　）は構成比　(千円・%)

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R3決算	(7.4) 359,708	(14.8) 713,398	(4.6) 221,526	(1.9) 89,466	(4.2) 204,833	(37.3) 1,799,348	(29.8) 1,441,465	(100.0) 4,829,744
R4決算	(5.9) 370,649	(11.8) 737,271	(9.5) 594,134	(1.3) 82,540	(3.0) 187,892	(47.8) 2,986,096	(20.6) 1,284,738	(100.0) 6,243,320
R5決算	(6.6) 365,803	(12.6) 694,570	(10.5) 576,466	(1.4) 79,051	(3.4) 185,155	(39.6) 2,181,800	(25.8) 1,422,886	(100.0) 5,505,731

(5) 税の徴収率（国民健康保険税除く）　(%)

	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	現年課税分のうち 固定資産税		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	現年課税分のうち 固定資産税
R5決算	99.4	98.3	99.4	99.2	99.5	R4決算	99.9	92.4	99.9	99.8	100.0

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園(認定こども園)	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	老人ホーム
77,513m	0㎡	171戸	(1園 －園) (8人 －人)	1校 16人	1校 4人	－校 －人	－校 －人	－校 －人	－所

公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
1館	1所 237㎡	1所 0床	0院 0床	60.3%	65.7%	100.0%	43.8%	0.0%

公営企業（Ｒ５決算）

（　）は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支（千円）

（法適用）

（法非適用）
簡易水道(　4,943)

主な郷土出身者

松本允秀(日本人初のグリーンスター賞受賞)

今後の主要課題

(震災以外)
○移住・定住人口、交流人口の拡大
○主要道の改良・整備
○村民の安心・安全の確保と生活環境の整備
○持続可能な村づくり

(震災関連)
○復興再生拠点区域内(R4.6避難指示解除)の住民の帰還促進・生活再建
○復興再生拠点区域外の避難指示解除に向けた取組
○営農再開支援対策
○産業再生と雇用確保

(特色ある施策)
○子育て支援(助成)
○情報通信サービスの提供
○ICT教育
○若者定住促進事業(奨励金)

(姉妹都市)

主な立地企業

かつらお胡蝶蘭合同会社、伊達物産㈱、㈱HANERU葛尾、葛尾創生電力㈱